

○計画期間:令和元年7月～令和7年3月(5年9か月)

○評価期間:令和3年4月～令和4年3月(令和3年度)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和3年度終了時点(令和4年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市では、令和元年6月に国の認定を受けた、高松市中心市街地活性化基本計画について、「来まい・住まい・楽しみまい-コンパクト・エコシティ たかまつ-」をコンセプトに、計画に掲載された全49事業が活性化に向けた相乗効果をもたらすよう、官民が連携し、中心市街地の活性化に取り組んでいる。

計画に掲載された全49事業の進捗状況は、2事業が完了しており、37事業が継続実施中、10事業が未完了となっている。

令和3年度は、令和2年度と同じく、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく、国際線航路の運休や入国制限に伴う外国人観光客の激減、また、大規模イベントの縮小や中止により、中心市街地における来街者は減少した。

また、公共交通機関の利用客についても、高松市においてはテレワークによる減少幅は少なく、通勤利用客について大きな増減はないものの、観光利用や高齢者等の買い物利用の減少に伴い、各交通機関の利用状況は、昨年と同程度で推移している。

現在、計画開始から2年9か月が経過しているが、基幹事業として位置付けている再開発事業等が実施中となっているため、直接的な効果は表れていない。

また、中心市街地の活性化に当たっては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響により、今後も厳しい状況が続くと見込まれており、新しい生活様式の中においても中心市街地の活性化やにぎわいが創出できるよう、官民が連携を図りながら、一体となって取り組んでいく必要がある。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

(基準日：毎年度1月1日)

(中心市街地 区域)	平成30年度 (計画前年度)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	令和4年度 (4年目)	令和5年度 (5年目)	
人口	20,629人	20,373人	20,185	19,964	—	—	
人口増減数	△106人	△256人	△188人	△221人	—	—	
自然増減数	△194人	△209人	△223人	△186人	—	—	
社会増減数	88人	△47人	35人	△35人	—	—	
転入者数	1,036人	984人	982人	980人	—	—	

## (2) 地価

(基準日：毎年1月1日)

位置	平成30年 (計画前年度)	令和元年 (1年目)	令和2年 (2年目)	令和3年 (3年目)	令和4年 (4年目)	令和5年 (5年目)
磨屋町2番6外	408,000	423,000	440,000	438,000	438,000	
築地町16番15	120,000	121,000	122,000	121,000	121,000	
西の丸町10番6	241,000	244,000	248,000	247,000	247,000	
御坊町10番16	133,000	134,000	135,000	132,000	130,000	
南新町4番3	258,000	261,000	265,000	261,000	257,000	
錦町一丁目210番	190,000	192,000	195,000	194,000	194,000	
天神前7番4	154,000	156,000	158,000	158,000	158,000	
藤塚町二丁目4番14	122,000	123,000	125,000	124,000	124,000	
丸の内7番20	154,000	156,000	159,000	159,000	159,000	
瓦町二丁目12番2	200,000	202,000	205,000	204,000	204,000	
錦町一丁目269番1	147,000	152,000	158,000	159,000	160,000	

## 2. 令和3年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

第3期基本計画の認定から2年9か月が経過する令和3年度末までの進捗状況として、全49事業のうち基幹事業である大工町立体駐車場事業の完了や新県立体育館整備事業の着手など事業の進捗が見られ未着手は0となった。37事業が継続実施中、10事業が未完了となっている。引き続き、事業の着実な進捗を図りたい。

目標指標の達成状況からみると、中心市街地内の主要観光施設年間入込客数については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和2年1月末からの高松空港を結ぶ国際線全便運休に伴う外国人観光客の減少などにより、基準値を大きく下回る結果となっている。感染拡大防止対策を講じながら瀬戸内国際芸術祭などのイベントを有効に活用し、入込客数の最大限の増加に努められたい。

また、中央商店街の歩行者等通行量については、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大前と比べ、通行量が減少しているものの、目標値は達成している状況である。

一方、新規出店数については、昨年度に比べ増加しているものの、令和6年度末までの目標達成は厳しい状況である。ただし、中心市街地では、今後、マンションの建設による分譲が予定されており、定住人口の増加が期待されることや、ことடன்新駅の整備を機に利便性が向上し、周辺地域の居住環境はもとより、中心市街地を含めた地域内外での回遊性の向上、交流人口の増加が期待されることから、新規出店の増加や新しい生活様式にも対応した具体的な施策の充実を図られたい。

中心市街地の社会動態とことடன்3駅の乗降客数については、目標値からの乖離が見られる。高松市においては、今後の都市環境の変化を見通しながら、空き家などの既存ストックの流通を促進させる効果的な住宅施策の展開や、交通サービスの充実を図られ

たい。

今後も、新型コロナウイルス感染症の影響が続くことが想定されるが、官民協働のもと中核事業を中心に基本計画の積極的な推進を行うことで、早期に目標指標が達成され、更なる中心市街地の活性化が図られるよう取り組んでもらいたい。

## II. 目標毎のフォローアップ結果

### 1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
サンポートエリアにおける高次(広域)都市サービス機能の充実による誘客力の向上	中心市街地内の主要観光施設年間入込客数	2,744 千人 (H30)	2,890 千人 (R6)	1,538 千人 (R3)	C	②	②
中心市街地の魅力発信による回遊性の向上	歩行者等通行量	92,639 人 (H29)	97,721 人 (R6)	108,403 人 (R3)	A	①	①
	新規出店数	216 店舗 (H26～H30 累計)	271 店舗 (R1.7～R7.3)	97 店舗 (R1.7～R3.12) 充足率 34%	C	②	②
拠点間交流と住環境の整備による地域価値の向上	中心市街地の社会動態	886 人 (H26～H30 累計)	1,373 人 (R1.7～R7.3)	80 人 (R1.7.1～R4.4.1) 充足率 6%	C	②	②
	ことடன்3駅の乗降客	31,751 人 (H29)	32,057 人 (R6)	26,035 人 (R3)	C	②	②

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

<目標達成に関する見通しの分類>

①目標達成が見込まれる ②目標達成が見込まれない

※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ1、2とする。

### 2. 目標達成見通しの理由

#### 1. 「中心市街地内の主要観光施設年間入込客数」について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和2年1月末からの高松空港を結ぶ国際線が全便運休していることにより、外国人観光客の大幅減に加え、国内観光も激減していることから、主要観光施設の利用客は前年に引き続き、目標値を大きく下回った。今後も国際線の運休の継続や、国内観光の増加の見通しは厳しく、国内での感染状況

も収束が見込めないことから、「中心市街地内の主要観光施設年間入込客数」の目標達成は、厳しい状況である。

今年度は瀬戸内国際芸術祭 2022 の開催年であることから、芸術祭の効果による、区域内の主要観光施設の利用が増えるよう、関係機関と連携しながら、積極的に推進していきたい。

## 2. 「歩行者等通行量」について

歩行者等通行量は、令和元年10月から、カメラによる計測を行っており、常時計測が可能となった。前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染状況の影響を受け、通行量は減少していたが、ワクチン接種による感染者数の減少に伴い回復傾向が見られた。その後、年明けのオミクロン株の急激な感染者増に伴い、再び通行量は減少傾向したもの、目標値は達成した。

## 3. 「新規出店数」について

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、前年度は、夜間営業を行う飲食店を中心に廃業が相次いだ。令和3年度は、企業による空きスペースの活用増大傾向が見られ、貸事務所や貸しギャラリーの出店傾向が見られた。夜間のみ営業であった店舗においても、テイクアウトやデリバリーと工夫を凝らして営業しているものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響の長期化に伴い、今後も新規出店は抑制されることが予想されるため、目標達成が難しい状況にある。

## 4. 「中心市街地の社会動態」について

前年度、2棟の分譲マンションのしゅん工となり、令和2年度までの合計値は△23人であったが、令和3年度は、大型タワーマンションが2棟しゅん工予定だったこともあり、中心市街地への転入者は増加すると思われたが、マンションの工期が令和4年4月に延期されたことで、前年と比較して103人増加し、本年度合計値は+80人となった。

次年度以降は、複数のマンションが建設予定であり、社会動態は増加するものと思われるものの、新型コロナウイルス感染状況の影響による景気の悪化により、マンションの販売戸数に影響が出ることも懸念されることから、目標達成は厳しい状況にある。

## 5. 「ことでん3駅の乗降客」について

令和3年のことでん主要3駅の乗降客数は、前年度同様、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛や国際線航路の運休・国内線の減便による観光客利用の大幅な減少により、前年に引き続き目標値を下回った。

今後、デジタル化の進展によるテレワークの浸透により、通勤利用が減少傾向となることや、新型コロナウイルス感染症の収束が不透明であり観光利用の増加も見込めないことから目標達成は厳しい状況にある。

### 3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

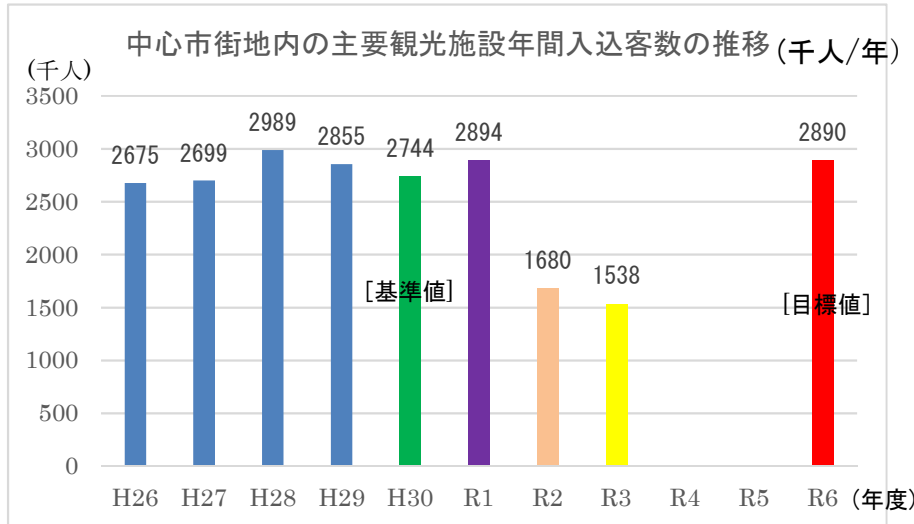
前回から変更はない。

### 4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

「中心市街地内の主要観光施設年間入込客数」

※目標設定の考え方基本計画 P94～P97 参照

#### ●調査結果の推移



年	千人/年
H30	2,744 (基準年値)
R1	2,894
R2	1,680
R3	1,538
R4	—
R5	—
R6	2,890 (目標値)

\*高松市美術館は H27. 1. 14～H28. 3. 25 の間、改修工事のため長期休館

※調査方法：各施設への聞き取り

※調査月：各年 1 月～12 月の施設利用者数

※調査主体：高松市

※調査対象：主要観光施設 4 か所（高松シンボルタワー、玉藻公園、高松市美術館、香川県立ミュージアム）で計測

(単位：人)

	平成 30 年度 (計画前年度)	令和元年度 (1 年目)	令和 2 年度 (2 年目)	令和 3 年度 (3 年目)	令和 4 年度 (4 年目)	令和 5 年度 (5 年目)
高松シンボル タワー	2,316,000	2,381,000	1,408,000	1,303,000		
玉藻公園	199,677	247,050	93,555	78,741		
高松市美術館	114,228	143,196	138,501	121,084		
香川県立ミ ュージアム	113,665	122,944	39,936	34,929		
合計	2,743,530	2,894,190	1,679,992	1,537,754		

#### 〈分析内容〉

中心市街地内の主要観光施設年間入込客数の増加に向けた各事業については、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、一部で遅れは出ているものの、計画期間内に完了することで進められている。

令和 3 年度の入込客数は、前年度同様、新型コロナウイルスの影響により、高松空港を結ぶ国際線が全便運休していることにより、外国人観光客の大幅減に加え、国内観光

も激減していることから、前年度比 92%となり、目標値を大きく下まわった結果となった。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 新県立体育館整備事業（香川県）

事業実施期間	令和3年度～令和6年度【実施中】
事業概要	競技スポーツ施設、生涯スポーツ施設としての機能に加え、コンサートやMICEなど、多くの集客交流が見込まれるイベントが開催できる交流推進施設としての機能を備えた体育館を整備するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】32,647人 建設工事着手済み。概ね当初の計画どおり進捗している。
事業の今後について	令和3～6年度 建設工事

② 高松駅周辺開発事業（四国旅客鉄道株式会社）

事業実施期間	令和2年度～令和3年度【実施中】
事業概要	交通結節点である高松駅周辺において集客機能のあるにぎわい施設を整備し、利便機能の拡充を図ることで香川県内外からの広域的な誘客を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】54,250人 実施設計が終了し、令和4年3月から工事着手。
事業の今後について	建設工事の実施。

③ ART SETOUCHI（瀬戸内国際芸術祭）（瀬戸内国際芸術祭実行委員会）

事業実施期間	平成22年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和6年度]
事業概要	3年に1回の現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」のほか、芸術祭開催年以外でイベント等により瀬戸内海の魅力発信・誘客

	の活動を実施するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国際文化芸術発信拠点形成事業（文部科学省）（平成30年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】4,396人 【最新値】(118万人(2019来場者数) - 104万人) × 22.2% × 60% = 18,648人 18,648人 × 69.1% × 73.2% × (1.725 - 1) ≒ 6,839人 高松港周辺で屋外作品の公開継続を実施した。
事業の今後について	引き続き、これまでに蓄積されたアートの資源を活用したアートイベント等を実施する。

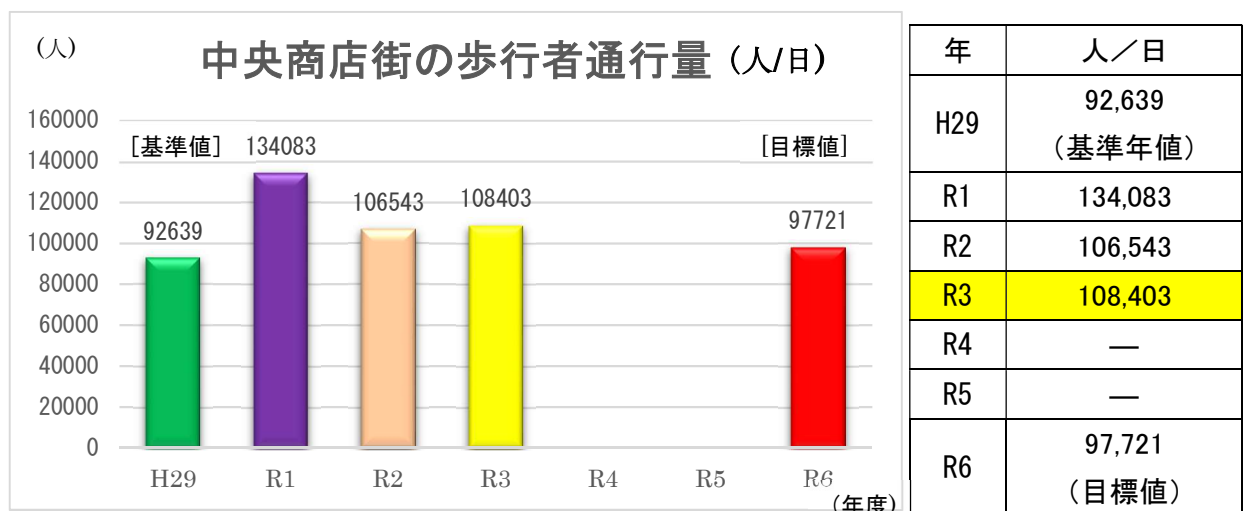
### ●目標達成の見通し及び今後の対策

「中心市街地内の主要観光施設年間入込客数」については、新型コロナウイルス感染症の拡大により、国内外とも観光を目的とした移動が減少してきており、収束が不透明であり、今後も影響が続くことが懸念されることから、目標達成の見通しは厳しい状況である。

今年度は、瀬戸内国際芸術祭 2022 の開催年であることから、感染拡大防止対策を図るなどの対応策を講じながら、芸術祭の効果や各種イベントを開催するなど、入込客数の増加に努めていきたい。

「中央商店街における歩行者等通行量」※目標設定の考え方基本計画 P98～104 参照

### ●調査結果の推移



\*R1 年度は下半期よりカメラ画像解析による計測を開始したため、下半期数値の平均としている。

H30 年のデータがないため、H29 を基準値とする。

※調査方法：中央商店街の 15 地点で自動計測（カメラ画像解析）を実施

※調査月：各年度 4 月 1 日～3 月 31 日

※調査主体：高松市・高松中央商店街振興組合連合会

※調査対象：毎日（10時から19時まで）の中央商店街15地点の歩行者（自転車を含む。）



〈分析内容〉

中央商店街における歩行者等通行量の増加に向けた各事業については、概ね予定どおり進捗している。

令和3年8月のまん延防止等重点措置の発令に伴い、9月の歩行者通行量は例年の約7割と減少していたが、9月30日の解除後は回復傾向が見られた。その後、年明けのオミクロン株の急激な感染者増に伴い、再び通行量は7割程度に減少傾向した。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 新県立体育館整備事業（香川県）

事業実施期間	令和3年度～令和6年度【実施中】
事業概要	競技スポーツ施設、生涯スポーツ施設としての機能に加え、コンサートやMICEなど、多くの集客交流が見込まれるイベントが開催できる交流推進施設としての機能を備えた体育館を整備するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・	【事業目標値】514人



最新値及び進捗状況	建設工事着手済み。概ね当初の計画どおり進捗している。
事業の今後について	令和3～6年度 建設工事

② 高松丸亀町子育て支援施設整備事業（高松まちづくり株式会社・NPO法人わははネット）

事業実施期間	令和2年度～令和3年度【済】
事業概要	再開発施設内に子育て支援施設を整備し、NPO法人による運営を行うことで子育て世代の女性が子どもを産みやすく、働きやすい環境を整備するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】14人 令和4年1月31日に新築工事が完了し、2月3日から事務所を移転して子育て支援事業を実施している。
事業の今後について	令和4年4月25日開業に向け、「讃岐おもちゃ美術館」と連携し、相乗効果を狙う。

③ 大工町立体駐車場整備事業（高松まちづくり株式会社）

事業実施期間	令和2年度～令和3年度【済】
事業概要	高松市大工町・磨屋町再開発事業で整備された施設における床の一部を取得し、隣接商店街のための利用客用駐車場として運営。
国の支援措置名及び支援期間	特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の経済産業大臣認定（経済産業省）（令和3年度） 中心市街地における低利融資（企業活力強化貸付（企業活力強化資金））（経済産業省）（令和3年度） 特定民間中心市街地経済活力向上事業の用に供する不動産の取得又は建物の建築をした際の登録免許税の軽減（経済産業省）（令和3年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】455人 駐車場部分については、仮使用検査を経て令和3年12月22日に開業し、建物全体としては令和4年1月31日に竣工した。
事業の今後について	令和4年4月末に、1階の大工町ものづくり育成店舗（讃岐おもちゃ美術館）の開業を予定しており、利用客の混雑が予想されるので、店舗オープン当初の入出庫の混乱を避けるよう留意する。

④ 大工町ものづくり育成店舗整備事業（高松まちづくり株式会社）

事業実施期間	令和2年度～令和3年度【実施中】
事業概要	再開発施設内に香川県のものづくりを担うデザイナーやクリエイターが集う施設を整備し、県外や海外から訪れる観光客に、香川のものづくりの体験や伝統産業の逸品などを提供することで、新たな魅力を創出し、商店街への来街意欲を促進させるもの。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地における低利融資（企業活力強化貸付（企業活力強化資金））（経済産業省）（令和3年度） 特定民間中心市街地経済活力向上事業の用に供する不動産の取得又は建物の建築をした際の登録免許税の軽減（経済産業省）（令和3年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】302人 令和4年1月31日に建築工事が完了した。
事業の今後について	今後4月末の開業に向け、準備を進めている。開業当初の混乱を避けるための訓練や、集客、引き続きボランティアスタッフ募集に留意する。

⑤ 高松市創業支援事業（高松市）

事業実施期間	平成27年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和6年度]
事業概要	高松商工会議所や金融機関等の地域の創業支援事業者と連携して創業者や創業希望者を支援するもの。
国の支援措置名及び支援期間	創業支援事業者補助金（経済産業省）（平成30年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】222人 【最新値】R1年創業者数135人 R2年創業者数165人 $150 \text{名} \times 6 \text{年} (\text{計画期間}) \times 23.3\% \times 13.4\% \times 11.1\% = 3 \text{店舗}$ $3 \times 108 \text{人/店舗} \times 0.6 \times 2 (\text{往復}) \times 312/365 \text{日} \doteq 332 \text{人}$ 令和2年2月に創業支援事業者と共同で開設した相談窓口である「たかまつ創業サポートセンター」と、連携して創業者や創業希望者等を支援している。
今後事業について	引き続き、地域の創業支援事業者と連携して創業者や創業希望者等への支援を行い、創業相談件数の増加を図る。

⑥ 南部3町商店街活性化マチカドプラザ事業（株式会社高松南部3町商店街プロジェクト）

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和 6 年度]
事業概要	南部 3 町商店街の活性化に向けて、商店街の情報発信、各種情報発信ツールによる各店舗情報の提供などを行い、情報発信力の強化を図るとともに、4 町パティオの有効活用を検討するなど、利用促進と回遊性を高めるもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】778人（年間 1 店舗、計画期間で 6 店舗の新規出店があると想定） 【最新値】R 1 年 8 店舗 R 2 年 10 店舗 R 3 年 14 店舗の新規出店 32 店舗×108人/店舗×0.6×2（往復）=4,147人 常磐町商店街と共同で、イベント&情報発信スペースを整備。外部企業・団体との積極的なタイアップやコラボにより、商店街の特性を活かした、独自性の強いプロモーション企画に取り組んだ。継続的な運営実現のため、収益力の強化に努めた。
今後の事業について	引き続き、商店街の魅力向上に向けたプロモーションの継続と、収益力の向上を図る。全く来街されることがないお客様へ対する集客が課題。

⑦ 高松市中央商店街空き店舗活用事業（高松市）

事業実施期間	平成 24 年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和 6 年度]
事業概要	中央商店街の区域に所在する空き店舗に新たに出店する事業者に対し、改装費の一部を補助するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】1,166人(計画期間内に 9 店舗の新規出店を想定) 【最新値】R 1 年度 10 店舗、R 2 年度 8 店舗 R 3 年度 7 店舗 25 店舗×108人/店舗×0.6×2（往復）=3,240人 平成 27 年 12 月から、高松中央商店街へ新規出店する者に対して、改装費の一部を助成する新規出店補助制度を開始し、継続して実施している。令和 3 年度は、7 件の空き店舗への出店に対し、交付決定を行っている。
今後の事業について	引き続き、高松中央商店街の空き店舗を対象として、新規出店補助制度の周知啓発を進め、空き店舗の解消が進展するよう継続して事業を実施する。

⑧ 高松丸亀町商店街情報発信事業（高松丸亀町商店街振興組合）

事業実施期間	平成 25 年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和 6 年度]
事業概要	外国人観光客などの来訪者に対して商店街の店舗情報やイベント情報などローカルな情報に加え、中央商店街全体の情報や広域的な観光情報等を提供し、利用促進と回遊性の向上を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和元年に開業したインフォメーションセンターは新型コロナウイルス感染症の影響による観光客減少もあり閉鎖をした。商店街Webサイトでの情報発信に移行している。
今後の事業について	コロナウイルスの収束を見極めた上で、必要な情報発信をWebサイトや商店街内のデジタルサイネージを使って発信する。また、新たに開業される大工町ものづくり育成店舗の告知に力を入れる。

⑨ 高松駅周辺開発事業（四国旅客鉄道株式会社）

事業実施期間	令和 2 年度～令和 3 年度【実施中】
事業概要	交通結節点である高松駅周辺において集客機能のあるにぎわい施設を整備し、利便機能の拡充を図ることで香川県内外からの広域的な誘客を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】178 人 実施設計が終了し、令和 4 年 3 月から工事着手。
事業の今後について	建設工事の実施。

⑩ ART SETOUCHI（瀬戸内国際芸術祭）（瀬戸内国際芸術祭実行委員会）

事業実施期間	平成 22 年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和 6 年度]
事業概要	3 年に 1 回の現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」のほか、芸術祭開催年以外でイベント等により瀬戸内海の魅力発信・誘客の活動を実施するもの。

国の支援措置名及び支援期間	国際文化芸術発信拠点形成事業（文部科学省）（平成30年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】14人 【最新値】6,839人÷365日×0.6×2（往復）≒22人 高松港周辺で屋外作品の公開継続を実施した。
事業の今後について	引き続き、これまでに蓄積されたアートの資源を活用したアートイベント等を実施する。

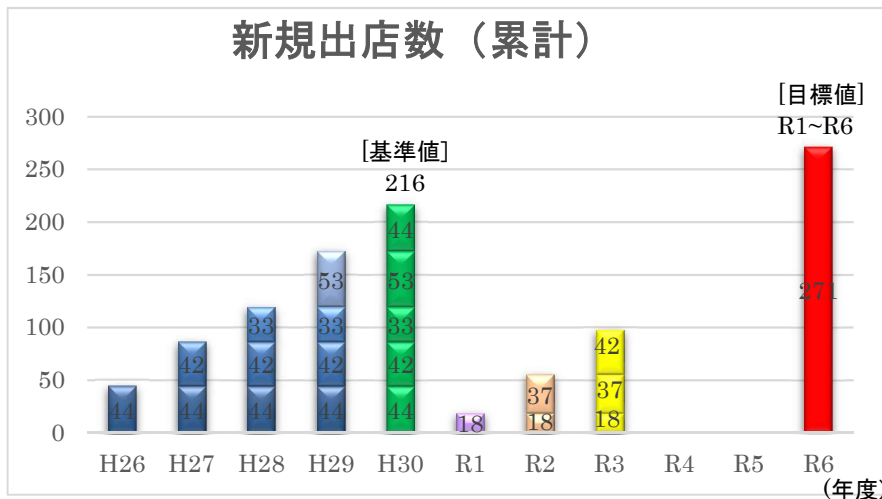
●目標達成の見通し及び今後の対策

「中央商店街における歩行者等通行量」については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、国内外の観光を目的とした移動や外出の自粛等により、昨年同様、コロナ禍以前と比べ減少しているが、ワクチン接種による、感染者の減少により回復傾向が見られ、9月以降は目標値は達成している状況である。

また、令和2年度に着手された市街地再開発事業では、子育て支援施設や大工町ものづくり育成店舗等の整備が実施されることとなっており、本事業の完了によって、集客の拡大が期待できることから、イベントの実施等も併せて行うことにより、通行量の増加につなげたい。

「新規出店数」※目標設定の考え方基本計画 P105～P106 参照

●調査結果の推移



年	店舗数（累計）
H30	216 (H26.4~H31.3) (基準値)
R1	18 (充足率 7%)
R2	55 (充足率 20%)
R3	97 (充足率 36%)
R4	—
R5	—
R6	271 (R1.7~R7.3) (目標値)

- ※調査方法：年2回、中央商店街店舗立地動向調査を実施
- ※調査月：6月、12月（取りまとめは、7月及び1月）
- ※調査主体：高松市・高松商工会議所
- ※調査対象：高松中央商店街を構成する8商店街振興組合

〈分析内容〉

中央商店街区域内のマンション建設や、店舗改装工事により、店舗数が 21 店舗減少し、

空き店舗は 15 店舗となったが、新規店舗数は、それらを上回る状況となった。令和3年度は、企業による空きスペースの活用増大傾向が見られ、貸事務所や貸しギャラリーの出店傾向が見られた。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 南部3町商店街活性化マチカドプラザ事業(株式会社高松南部3町商店街プロジェクト)

事業実施期間	平成30年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和6年度]
事業概要	南部3町商店街の活性化に向けて、商店街の情報発信、各種情報発信ツールによる各店舗情報の提供などを行い、情報発信力の強化を図るとともに、4町パティオの有効活用を検討するなど、利用促進と回遊性を高めるもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】6店舗（年間1店舗、計画期間で6店舗の新規出店があると想定） 常磐町商店街と共同で、イベント&情報発信スペースを整備。外部企業・団体との積極的なタイアップやコラボにより、商店街の特性を活かした、独自性の強いプロモーション企画に取り組んだ。継続的な運営実現のため、収益力の強化に努めた。
今後の事業について	引き続き、商店街の魅力向上に向けたプロモーションの継続と、収益力の向上を図る。全く来街されなかったことがないお客様へ対する集客が課題。

② 高松市中央商店街空き店舗活用事業（高松市）

事業実施期間	平成24年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和6年度]
事業概要	中央商店街の区域に所在する空き店舗に新たに出店する事業者に対し、改装費の一部を補助するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】9店舗 【最新値】R1年度10店舗、R2年度8店舗 R3年度7店舗 8店舗×(1.2-1)×5年9ヵ月≒9店舗 平成27年12月から、高松中央商店街へ新規出店する者に対して、改装費の一部を助成する新規出店補助制度を開始し、継続して実

	施している。令和3年度は、7件の空き店舗への出店に対し、交付決定を行っている。
今後の事業について	引き続き、高松中央商店街の空き店舗を対象として、新規出店補助制度の周知啓発を進め、空き店舗の解消が進展するよう継続して事業を実施する。

③ 高松丸亀町商店街情報発信事業（高松丸亀町商店街振興組合）

事業実施期間	平成25年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和6年度]
事業概要	外国人観光客などの来訪者に対して商店街の店舗情報やイベント情報などローカルな情報に加え、中央商店街全体の情報や広域的な観光情報等を提供し、利用促進と回遊性の向上を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和元年に開業したインフォメーションセンターは新型コロナウイルス感染症の影響による観光客減少もあり閉鎖をした。商店街Webサイトでの情報発信に移行している。
今後の事業について	コロナウイルスの収束を見極めた上で、必要な情報発信をWebサイトや商店街内のデジタルサイネージを使って発信する。また、新たに開業される大工町ものづくり育成店舗の告知に力を入れる。

④ 大工町ものづくり育成店舗整備事業（高松まちづくり株式会社）

事業実施期間	令和2年度～令和3年度【実施中】
事業概要	再開発施設内に香川県のものづくりを担うデザイナーやクリエイターが集う施設を整備し、県外や海外から訪れる観光客に、香川のものづくりの体験や伝統産業の逸品などを提供することで、新たな魅力を創出し、商店街への来街意欲を促進させるもの。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地における低利融資（企業活力強化貸付（企業活力強化資金））（経済産業省）（令和3年度） 特定民間中心市街地経済活力向上事業の用に供する不動産の取得又は建物の建築をした際の登録免許税の軽減（経済産業省）（令和3年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】6店舗 令和4年1月31日に建築工事が完了した。
事業の今後	今後4月末の開業に向け、準備を進めている。開業当初の混乱を

ついて	避けるための訓練や、集客、引き続き ボランティアスタッフ募集に留意する。
-----	--------------------------------------

⑤ 高松市創業支援事業（高松市）

事業実施期間	平成 27 年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和 6 年度]
事業概要	高松商工会議所や金融機関等の地域の創業支援事業者と連携して創業者や創業希望者を支援するもの。
国の支援措置名及び支援期間	創業支援事業者補助金（経済産業省）（平成30年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】2 店舗 【最新値】R1 年創業者数 135 人 R2 年創業者数 165 人 150 名×6 年（計画期間）×23.3%×13.4%×11.1%≒3 店舗 令和 2 年 2 月に創業支援事業者と共同で開設した相談窓口である「たかまつ創業サポートセンター」と、連携して創業者や創業希望者等を支援している。
今後事業について	引き続き、地域の創業支援事業者と連携して創業者や創業希望者等への支援を行い、創業相談件数の増加を図る。

●目標達成の見通し及び今後の対策

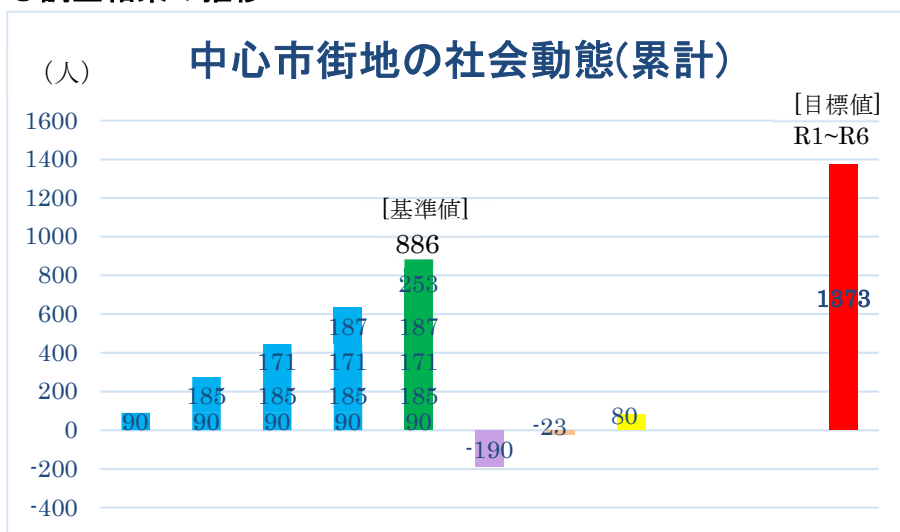
「新規出店数」については、新型コロナウイルス感染症の影響による、国際線運休による外国人客の減少や外出自粛によって、今後も厳しい状況が続くと予想されているが、既存店舗においても、テイクアウトやデリバリー、ランチ営業と工夫を凝らした営業を続けていることに加え、商店街の通行量の回復や新たな業種への転換など、新規出店も増加してきていることから、今後の推移を注視していきたい。

感染拡大の防止対策や、新しい生活様式に対応した商店街活性化に向けて、官民が連携し、安定した店舗の経営が継続できるよう、各種施策の実施に努めていきたい。



「中心市街地の社会動態」 ※目標設定の考え方基本計画 P107～109 参照

●調査結果の推移



年	人 (累計)
H30	886 (H26.4~H31.3) (基準値)
R1	△190 (充足率-14%)
R2	△23 (充足率-2%)
R3	80 (充足率6%)
R4	—
R5	—
R6	1,373 (R1.7~R7.3) (目標値)

※調査方法：中心市街地内における住民基本台帳登録人口

※調査月：4月1日時点調査、同月取りまとめ

R1年度は7月1日～R2年4月1日

※調査主体：高松市

※調査対象：中心市街地内の居住者

〈分析内容〉

令和3年度は、中心市街地全体で転入972人、転出930人、社会動態は103人増となり、前期からの累計では、プラス80人となった。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ① 高松市大工町・磨屋町地区第一種市街地再開発事業(大工町・磨屋町地区市街地再開発組合)

事業実施期間	令和2年度～令和5年度【実施中】
事業概要	中央商店街の一つである丸亀町商店街C街区の東西にある大工町・磨屋町地区で都市型住宅、商業施設、立体駐車場を備えた再開発施設を整備するもの。
国の支援措置名及び支援期間	スマートウェルネス住宅等推進事業（地域生活拠点型再開発事業）（国土交通省）（令和2年度～令和5年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】83人 再開発組合が、大工町街区の施設建築物新築工事を、令和4年1月に完了した。また、磨屋町街区の既存建築物の除却工事に着手している。
事業の今後について	再開発組合が、引き続き磨屋町街区の既存建築物除却工事を進め、令和4年8月に完了し、施設建築物の新築工事に着手する予定である。

② 高松市常磐町地区優良建築物等整備事業(阪急阪神不動産株式会社・四国旅客鉄道株式会社)

事業実施期間	平成31年度～令和5年度【実施中】
事業概要	中央商店街の一つである常磐町商店街のジャスコ跡地において、医療施設、子育て支援施設、共同住宅を整備するもの。
国の支援措置名及び支援期間	スマートウェルネス住宅等推進事業(地域生活拠点型再開発事業)(国土交通省)(平成31年度～令和5年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】167人 事業者が、施設建築物新築工事に着手しており、概ね計画通り進捗している。
事業の今後について	事業者が、引き続き施設建築物の新築工事を進める予定である。

③ フラット35活用事業(高松市)

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	高松市立地適正化計画で定める中心市街地を包含する居住誘導区域の外から、区域内へ住み替えた世帯に、住宅の建築・購入等費用の一部助成及び住宅金融支援機構と提携し、住宅ローンフラット35Sの金利の低減(当初5年間△0.25%等)を行うもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】104人 【最新値】実績1件×2.2人/世帯≒2人 ※再開発事業が未完了のため再開発事業による実績の75%は算出式に含まず。 令和3年度の実績は7件(うち中心市街地は0件(R2年度の実績1件4名の人口増のみ))。
事業の今後について	次年度も継続的な周知啓発を行い、より多くの方に制度を利用してもらえるよう努めていく。

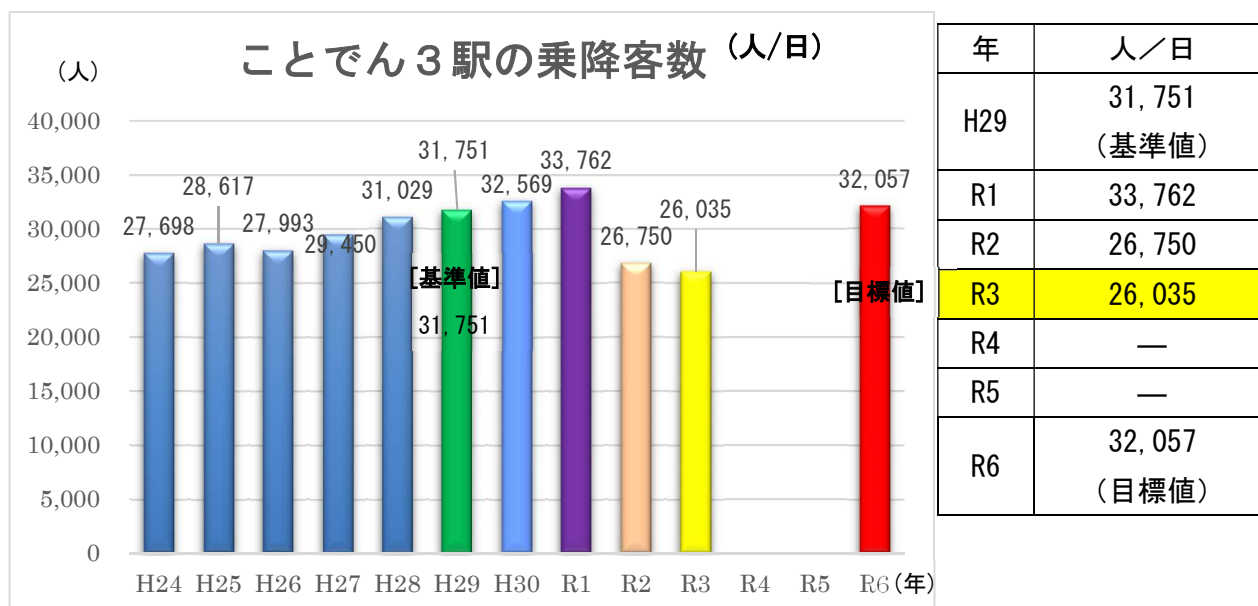
●目標達成の見通し及び今後の対策

「中心市街地の社会動態」については、目標値から大きく乖離しているが、次年度、5棟の分譲マンションのしゅん工405戸の分譲が予定されていることから、今後の状況を注視していきたい。

現在、実施しているフラット35活用事業や、空き家等の既存ストックの流通を促進する住宅施策を展開するなど、中心市街地に居住が確保されるよう周知啓発に努め、人口増につなげたい。

「(参考指標) ことでん3駅の乗降客数」※目標設定の考え方基本計画 P110～112 参照

●調査結果の推移



※調査方法：高松琴平電気鉄道株式会社へ聞き取り

※調査月：毎年1月1日～12月31日

(H24～H30は毎年4月1日～翌年3月31日で集計)

※調査主体：高松琴平電気鉄道株式会社

※調査対象：ことでん3駅（高松築港、片原町、瓦町）の乗降客数

〈分析内容〉

令和3年のことでん主要3駅の乗降客数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、前年比97%、前々年比77%と目標値を下回る結果となった。定期利用については、中学校、高校などの学級閉鎖や、企業のテレワーク導入により、年間を通して前年比97%とほぼ横ばいの結果となった。一方、観光利用や買い物利用が多数を占める定期外利用においても、前年比98%と横ばいの結果となった。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ① 高松丸亀町子育て支援施設整備事業（高松まちづくり株式会社・NPO法人わははネット）

事業実施期間	令和2年度～令和3年度【済】
事業概要	再開発施設内に子育て支援施設を整備し、NPO法人による運営を行うことで子育て世代の女性が子どもを産みやすく、働きやすい環境を整備するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗	【事業目標値】2人/日 令和4年1月31日に新築工事が完了し、2月3日から事務所

捗状況	を移転して子育て支援事業を実施している。
事業の今後について	令和4年4月25日開業に向け、「讃岐おもちゃ美術館」と連携し、相乗効果を狙う。

② 新県立体育館整備事業（香川県）

事業実施期間	令和3年度～令和6年度【実施中】
事業概要	競技スポーツ施設、生涯スポーツ施設としての機能に加え、コンサートやMICEなど、多くの集客交流が見込まれるイベントが開催できる交流推進施設としての機能を備えた体育館を整備するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】164人/日 建設工事着手済み。概ね当初の計画どおり進捗している。
事業の今後について	令和3～6年度 建設工事

●目標達成の見通し及び今後の対策

「ことடன்3駅の乗降客数」については、新型コロナウイルス感染拡大状況によって、公共交通の利用客数は影響を受けやすく、今期についても前年度同様、利用者数が減少している状況である。目標達成は厳しい状況となっているが、感染拡大防止対策等により、定期利用者は回復してきており、今後、新駅の整備や乗り継ぎサービスの向上を図ることで、乗降客数を確保していくこととされていることから、今後の動向を確認していきたい。

目標達成に向けた計画掲載事業の推進や、環境配慮の面からも公共交通機関の利用を促すなど、目標値に近づけたい。